

ぽれぽれ



通信

vol.22

文部科学大臣政務官
復興大臣政務官
衆議院議員(3期6年)

第22号【5・6月号】

栄区 鎌倉市
逗子市 葉山町

山本

39歳
ともひろ



日本政界初、 海底1000m突破！

～人類未踏の地、
戸田海底谷を視察～

現在、山本が、拝命している文部科学大臣政務官としての担務(政務三役で分担している任務、職責)の一つに、科学技術がある。科学技術と一言と言っても多岐にわたる様々な分野がある。例えば、宇宙開発、ライフサイエンス、量子ビーム、核融合・原子力開発、環境エネルギー、南極観測、地震防災研究などである。そして、その中の一つとして海洋開発もあるのだ。

政務官就任以来、上記の分野に関する研究開発施設に数多く視察に行っている。海洋開発分野で言えば、文部科学省所管の国立研究開発法人である海洋研究開発機構(Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology)、通称JAMSTEC ジャムステックがメインとなる。山本が今までに視察したのは、横須賀にある本部、横浜にある横浜研究所、四国にある高知コア研究所である。

JAMSTECは、平和と福祉の理念に基づき、海洋に関する基盤的研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等の業務を総合的に行うことにより海洋科学技術の水準の向上を図るとともに、学術研究の発展に資することを目的とした組織である。その本部を視察した際に、有人潜水調査船「しんかい6500」がメンテナンス中でドックに収容されており、実物を見る機会を得た。「しんかい6500」は、深度6,500mまで潜ることができる潜水調査船だ。1989年に完成し、日本近海に限らず、太平洋、大西洋、インド洋等で、海底の地形や地質、深海生物などの調査を行い、2012年には通算1300回目の潜航を達成した。現在運航中の大深度まで潜ることのできる有人潜水調査船は、世界でも7隻しかない。その中で「しんかい6500」は、我が国が世界に誇れる調査船であり、日本のみならず世界の深海調査研究の中核を担う重要な役割を果たしている。しかし、沖に上がっている船を見てもあまり実感が湧かないものである。

そのような話をしているとJAMSTECの役員が「実は、以前、政治家に「しんかい6500」に乗船してもらおう計画がありました」と言い出したのである。詳しく聞いたところ、小泉総理(当時)に乗ってもらい海底を視察してもらおうとの計画があったそうだ。しかし、結果的に実現はしなかった。

「しんかい6500」は三人乗りで、船長と船長補佐と観察者の三名しか乗船することが物理的に出来ないのである。そこで問題になったのが、総理のSPが乗船できないということだったそうだ。さらには、一国の総理を海底まで連れて行き、万が一のことがあれば、誰も責任が取れない、となり計画は実行されることはなかったそうだ。

と、ここで話は終わるはずだったのであるが、今年になってJAMSTECから連絡があり、4月にメンテナンスを終えた「しんかい6500」を試験潜航させるが、乗船しますか、と。本来、潜水調査を行う場合は、船長と船長補佐、そして観察者、つまり研究者・学者が乗船するのであるが、試験潜航の際は、研究者は乗らないので1席空席が生じるのである。せっかくの機会なので乗船することになった。が、乗船までには乗り越えなければならない条件がいくつかあった。まずは国会会期中のため、当然、本会議や委員会が優先される。また政務官として文科や復興以外にも他の委員会や参議院の委員会などで担務に関わる場合は答弁に立たな



「しんかい6500」の前で
船長と船長補佐と記念撮影

政治家って普段何してるの?!

誰もが疑問に思うこと!その疑問に山本ともひろが、twitterとFacebookを使いお答えします。そこには、普段考えもしなかった政治家の活動や苦悩があります。アクセス、フォローお待ちしております。



衆議院議員 山本ともひろ プロフィール

- 昭和50年(1975年)生まれ 39歳 鎌倉在住
- 関西大学 卒業 京都大学大学院 修士課程 修了
- (財)松下政経塾 卒塾(21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年(2005年)衆院選 京都2区(近畿) 初当選
- 平成24年(2012年)衆院選 神奈川4区(南関東) 2期目の当選
- 平成26年(2014年)文科大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成26年(2014年)衆院選 神奈川4区(南関東) 3期目の当選

《オモテ面からのつづき》

ればならない。そのような案件が生じた場合も当然、視察は中止である。もちろん、中止であって延期ではないのである。JAMSTECが行っている本来業務の日程に合えば、空席を活用し視察をするだけの話であるからだ。さらに、国会日程だけではなく天候も味方に付けなければならない。海が荒れれば、その段階で中止となる。が、そのすべてがクリアでき、乗船することが出来た。

今回、山本が視察したのは、静岡県沼津市戸田地区の沖合、駿河湾の海底1000mにある戸田海底谷だ。本海底谷は、まだ誰も言ったことのない人類未踏の谷であり、海底の状態がどのようになっているのか、どんな種類の深海生物がいるのか、船長、船長補佐、そして山本と全員が探究心に満ち溢れ海底視察を実施した。貴重な海底の写真や動画を山本本人が撮影をし、ツイッターやfacebookに掲載してあるので、是非、ご笑覧を乞う。

調査船に乗り込み、母船から吊り上げられ、海へ出され、バラストタンクに海水を注入し、その重みを利用し垂直に海底に毎分約45mで落下。今回は1000m程度なので約20分で海底に到着し、人類初の戸田海底谷に着床した。その後、約2時間、同谷を調査した。その後、浮上のためにウエイト全量を切り離し上昇、速度は、下降時とほぼ同じで約20分

で海面に到達した。母船に戻ってから、約3時間の潜航で、と聞かされて、そんなに潜っていたのか、と驚いた山本は、まるで浦島太郎のようであった。山本の到達した最深地点は海底1143mであった(現日本政界記録)。

「しんかい6500」は、インド洋で太陽の光が全く届かない深海で海底からわき上がる熱水を栄養源にして生きる「化学合成生物群」を発見した。深海という特殊な環境で生きるために深海生物には様々な能力が備わっており、そうした能力が思わぬ成果につながることもある。例えば、山本が視察した駿河湾から採取された深海微生物から特殊な有用物質(耐熱性βアガラゼ)が発見され、遺伝子研究の現場で役立つ薬品として(ニッポンジーン社により)既に製品化されている。この薬品により、高精度のDNAを短時間で入手することが可能となり、医薬品の開発や食品生産などに貢献している。また、近年日本の近海に眠る海洋資源への期待が高まっているが、「しんかい6500」も、沖縄付近の深海では金や銀などが含まれる「海底熱水噴出孔」の調査に活用されており、その調査結果は次世代の資源である海洋資源の確保に向けた研究に役立てられている。「しんかい6500」は、これからも未知の深海に潜り続け、地震の原因を突き止める研究や、様々な深海生物から有用物質を探し出す研究などに挑戦していく予定だ。

会議をするなら自由民主4区会館。



JR鎌倉駅(西口)前にある自由民主4区会館は、山本ともひろの活動を支えるためだけに使うのではなく広く世に開放しています。2つの会議室を擁し、事前に予約をして頂ければ、ご利用頂けます。

但し、公職選挙法により無料で開放することが出来ません。従って右記の通り使用料を頂きます。地域や町内の活動のための会議などにご活用頂ければ幸いです。定期的、或は商業目的にご使用になる場合はご相談下さい。

【自由民主4区会館】



【第1会議室】



【第2会議室】

○自由民主4区会館 定員と使用料

種類と定員	使用料(円)		
	午前 9-12時	午後 13-17時	夜間 18-22時
第1会議室(15人)	1,000	1,000	1,000
第2会議室(15人)	1,000	1,000	1,000

住所:鎌倉市御成町12-4 JR鎌倉駅西口前
TEL:0467-39-6933

あなたの駅は何枚でしょう?

山本ともひろ後援会機関紙「ぼれぼれ通信」を4区内の駅頭で朝の6:30~8:30までの2時間駅頭活動をさせて頂き本紙を配布させて頂いておりますが、3、4月は、知事選挙、統一地方選挙が実施されたため、山本本人の活動は自粛し、各候補者の駅頭活動の応援に徹しました。

ぼれぼれ通信の由来

ぼれぼれとは、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意味。一度に全てを変えることは無理だけど、それでも諦めずにゆっくりでも、少しずつでも政治を変えていきたい。それを誰かが、やらなければ、この国は良くならない。その活動を本紙でご報告します。ノ

私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせ、政治を志すきっかけとなりました。だから、その国の言葉を使うことにしました。twitterやfacebookのアカウントのpolepoleもその思いからです。本紙をどうか末永くご愛読の程よろしくお願い申し上げます。

- ・本部事務所 神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943
- ・国会事務所 東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室 TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623
- ・自由民主4区会館 神奈川県鎌倉市御成町12-4 山田ビル3F TEL:0467-38-6411
- ・文部科学大臣政務官室 東京都千代田区霞が関3-2-2 TEL:03-6734-3503 FAX:03-6734-3584
- ・復興庁 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル6F TEL:03-5545-7230(代表)